

たかお治久^{はる ひさ} 後援会 会報 No.17

■発行日／平成27年6月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

いつも大変お世話になっております。高砂市議会議員のたかお治久です。高砂市は昨年度市政 60 周年を迎え様々な行事を行い、年度末には「平成 27 年度当初予算」を議決し、いよいよ新年度がスタート致しました。今会報では、先ず高砂市の向こう 10 年間の財政見通しについてお示しし、私の会派代表質問、そして今後高砂市が 2 年で取り組む様々な計画についてご報告とご説明をさせていただきます。

私は、遠くを見つめたビジョン（100年先を見据えた高砂市のグランドデザイン構築）と、心のこもった日々の施策運営（例えば市の公園のしっかりした除草や撤去された遊具の補充等身近な施策の充実）が重要と思っています。

1. 高砂市の中期財政見通し

よく「高砂市の財政は厳しいの？」と聞かれます ⇒ 答えは「非常に厳しい」です。

以下、この 3 月定例議会中に示された高砂市の今後 10 年間の中期財政計画見通しを御覧ください。

高砂市の中期財政見通し（一般財源ベース）

（年は全て年度、単位：百万円）

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
歳入（収入）計	25,002	22,087	22,382	22,592	22,886	22,942	23,226	22,957	22,767	22,694	22,650
歳出（支出）計	24,867	23,069	23,232	23,099	23,011	22,762	22,847	22,967	22,636	24,447	23,109
歳入－歳出の差引	135	▲ 982	▲ 850	▲ 507	▲ 125	180	379	▲ 10	131	▲ 1,753	▲ 459
貯金残高	5,269	4,298	3,497	3,099	2,590	2,503	2,890	3,079	3,210	1,457	1,062

上の[歳入]が高砂市の収入 [歳出]が支出にあたります。そしてその下の[歳入－歳出の差引]が、即ち単年度収支にあたるのですが、殆どの年度で ▲（即ち単年度マイナス）のマークがついており、これを賄っているのがその下の貯金残高です。（ぴったりにはなりません）

行政は、皆様から徴収した歳入（収入）の中で出来る範囲の事をする事になるのですが、昨今は社会保障費の増大や老朽化した公共施設の維持管理費に加え、高砂市特有の課題であるゲリラ豪雨に対する治水対策等、社会構造の変化の中でやらなければならない事業に追われ続け、やるべきことがやれないまま貯金をかなり減らしていく見通し（約 53 億円が 10 年後は 11 億円）というのが実情です。

しかも上の歳出の中では、日本中で問題になっている公共施設の老朽化対策は高砂市においても十分に施された予算にはなっておらず、今後施設の統廃合をどうするのか？ 道路や橋の老朽化対策はどうするのか？ 等について議論を深めつつ、実際の対応を行っていかねばなりません。

高砂市は34.4km²という非常に狭い面積の自治体で、そこに10の小学校が要るのか？8つの公民館が要るのか？ 治水対策にどれ程のお金をつぎ込むべきなのか？ 道路はガタガタでもいいのか？ 公園の遊具は減る一方でいいのか？

限られた財政事情の中で、あなたなら「何を残し」「何を我慢し」どんな街づくりを望みますか？

今後施設の統廃合の議論が起こる時には、市民の皆様一人一人が、「長期的に」「広域的に」そして俯瞰的に自分の課題として考えていかないといけないと思っています。

大型ローンの返済分

若者向け施策として、合計特殊出生率の低下をどう捉えているか？

質問

高砂市の合計特殊出生率（女性が一生に生む子どもの数）の推移では、平成 22 年度の 1.45 人をピークに高砂市は低下している一方、それまで高砂市を下回っていた兵庫県、全国とは逆転している。高砂市で 800 人台だった平成 22 年とその 3 年後の平成 25 年を比較すると、高砂市の場合、人数にして 138 人の減少となっている。県、国が上げ基調を実現している中での下げ基調。更に逆転されているこの現象について、どう分析し原因をどう捉えているか？

市長答弁

細かい分析は出来ていないが、男性の平均就業時間が短い等の農村部地域ほど出生率は高いとされており本市は都市型傾向にあることから出生率が低くなっているものと推測している。

責任と処遇が一致した人事給与制度への改革

質問

昇格すればするほど割の合わない人事給与制度では挑戦的な仕事をする人を育てることは出来ない。部長昇格を「よっしゃー!」と思わず「なってしまった」と思ってしまうように見える現在の人事給与制度。即ち責任と処遇が一致していない仕組みの改革が必要ではないかと考える。又、本当に頑張っている人にもっと手厚い処遇をし、明確な格差をつくる処遇制度の研究をしてはどうか？

（★終身雇用の上、それ程、昇格しなくても結構な収入が約束されている現在の公務員制度。昇格すればする程、しんどくなるのは何処の組織でも同じですが、私が見る限り各部署のトップである部長はハードな割りにそれ程、優遇された処遇にもなっておらず、そこを目指して頑張る職員さんが少ないのが問題と思つての質問、提案です）

市長答弁

やはり向上心は必要。給与の実態については見直しが必要と考える。部長職の給与と一般職でも 4 級の方で相応の年齢の方であればそんなに給与が変わらないというのが実態。職員がどういう意識で働いているのかがしっかりと見極めながら対応していきたい。

3. 高砂市の新スポット（ユーアイ帆っとセンター）

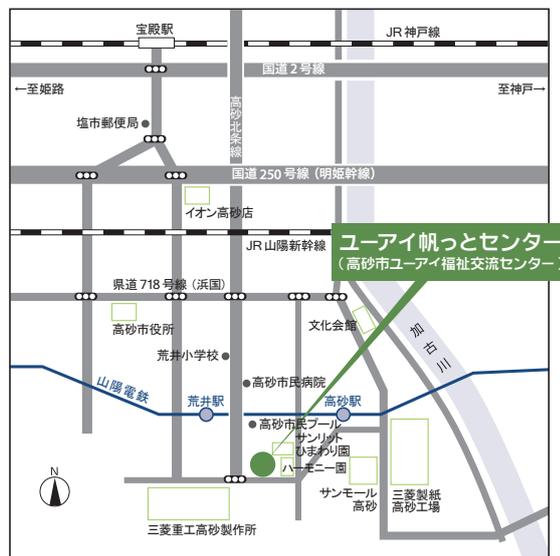


館内には有料の交流スペース以外にも、ゆっくりくつろげる開放的な共有スペースもありますので、是非皆さま一度足を運んでみてください。開館時間は 9 時～ 22 時（年末年始及び保守に必要な日以外は開館）

因みにこの施設は鐘淵化学工業(株)（現：(株)カネカ）が平成 3 年に高砂市に寄付をした 7 億円の内の 5 億円を主な財源に建設されたものです。



今年 4 月 1 日より松波町にユーアイ帆っとセンター（正式名称：高砂市ユーアイ福祉交流センター）がオープン致しました。施設は高齢者福祉、障がい者福祉、子育て世代等、多方面の福祉に寄与できる様に作られ運営されることになっています。



2. 会派代表質問

「100年先を見据えた高砂市のグランドデザイン構築を」と「足元」の事

今3月定例議会で私が明風会(島津明香議員、石崎徹議員、私の3名会派)を代表して実施した会派代表質問(60分)の概要と答弁は以下の通りです。

現在の高砂市が歴史を振り返った時、隆盛を極めた高度成長時代に構築した様々な仕組みが、今転換点を迎えていることは間違いなく如何にしてこの高砂市を創りかえていくか、根本的にどうしていくべきなのか?100年先を見据えてのまちづくりが必要、と考えるの質問です。



高砂市が他市に勝るアピールポイントは?



質問

平成27年度市政方針にて市長は「夢工房たかさこ」を謳っているが、市民がどういった夢を見ることができ、市民がどう「住んで良かった」と感じるであろう、というイメージを想像されているのか?これから何処に住もうかと思案中の者に「高砂に住もう!」と決断させる為他の自治体に勝るアピールポイントは何であると思われるか?



市長答弁

市民一人一人が夢を持ち実現しようと努力をする。そしてみんなで共有できるのが夢工房。高砂市はコンパクトで歴史と伝統、最先端の技術が同居した街で他にはない特徴。住んで良かったと思える街として大切なのは教育、福祉、医療等の基盤がしっかりした安心して暮らせる街と雰囲気と考える。

100年先を見据えた高砂市のグランドデザイン構築について



質問

隆盛を極めた高砂市も今は停滞気味。老朽化現象も周知のこととなってきた今こそ、再度夢を見れる街を作る絶好の時と感じる。中途半端に成功の最中にはスクラップアンドビルドに賛同は得られない。今こそ、高砂市の良い所と軌道修正すべき所を市民に理解頂き、「100年先の高砂市のグランドデザイン構築」を模索するべく、腰を据えて街づくりを検討する体制作りを進めては如何か?



市長答弁

総合戦略策定にあたっては2060年の人口ビジョンは重要な要因であり、これを念頭において、いつの時代であつても地方行政に求められる市民福祉の向上を目指し、誰もが住みよく幸福感をもった生活がしていける街が望まれているのだと考えている。

目の前にある施設のきちんとした管理運営を



質問

その一方で非常に重要と思うのが、作ったものを品質向上させながら管理すること、本当にお客様のニーズに合わせる意識での現場の仕事の仕組みをつくること。強烈に個性のある売りが無くても、市内のどの公園に行ってもいつも綺麗にされていたり、配慮ある心のこもった管理運営がされていれば高砂ファンは作れる様に思う。今の時代だからこそ、こういった事を1つの売りにし、磨き上げることが大切と思うがどうか?



市長答弁

市民の皆さまの声をしっかり聞いて反映していきたいと考える。

(★これは身近な公園の除草や遊具の充実、有るのに広報されていない公民館図書室の活用等、本当に身近で有効に使われていない施設を考えての質問で新たな仕組みを提案していきたいと思います。)



せっかく設置した公園も草が生い茂り遊べない状態ではその価値はない。いくら良いものを作っても管理がずさんではダメなんですよ。

4. 本当に重要な H27・28 年度

平成 27 年度の予算で執行される様々な施策の詳細については行政当局発行の『広報たかさご』や高砂市のホームページをご覧ください。この紙面では人口減少社会を背景に、今後高砂市が取組む総合的な施策についてお示しいたいと思います。是非一度じっくりご覧ください。

① 総合計画後期（5年）基本計画

自治体は 10 年を一つの期間とし、その自治体の最上位計画として総合計画を策定しており、ここで行政は市民に対し「市のまちづくりの将来展望」を示しています。現在の高砂市は平成 23 年～平成 32 年を対象に作成しており、①は丁度中間期間を迎え残りの 5 年間（平成 28 年～ 32 年）について見直しを行うものです。

② 地方創生総合戦略

内閣総理大臣指示により経済対策として「地域の消費喚起」と「地方の活性化」を目的に、プレミアム商品券発行等を促す財源を交付すると共に、地方が策定する地方版総合戦略に対し国が支援する（お金を出す）という政策。具体的には、地方における安定した雇用の創出〇〇人・地方への人の流れをつくる〇〇人・若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる 出生数〇〇人・時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守ると共に地域と地域を連携する「小さな拠点数」〇〇カ所等、具体的数字を示す必要のある非常に難しい課題ですが、今地方にはこういった施策の立案が求められており、学校や企業、各種団体にも意見が求められています。

③ 行政経営プラン

地方分権が進む中、総合計画を推進して行く為に、行政には「運営」に留まらず、財源や人員も勘案した行政の「経営」への移行が必要と言われており、これまで行政当局内で分散していた行政全体に関する計画を全体として機能する様に連携させ、トータル的にマネジメントしていくプランのこと。この仕組みが従来と大きく違い「形だけ」に終わらない可能性があるのは、行政評価を実施し改善を図る PDCA サイクルも規定し「高砂市総合政策に関する条例」が今後作られることになっている点です。

高砂市

樹齢（市制）60年の高砂市、この樹が、どんな風に育つかは、この2年間で本当に重要です。

- ⑧ 治水対策
- ⑦ 庁舎建設整備計画
- ⑥ 公共施設等総合管理計画
- ⑤ 連携中枢都市圏構想
- ④ 第4次行政改革（延長版）
- ③ 行政経営プラン
- ② 地方創生総合戦略
- ① 総合計画後期（5年）基本計画



連携中枢都市圏構想 7市8町



④ 第4次行政改革（延長版）

行政改革はこれまで 4 回（次）にわたって取り組んできており、総人件費の抑制や民間委託、幼保一体化推進、滞納整理等他にも様々な改革を推進してきています。今般のものは第 4 次行政改革を総合計画見直しにあわせ 2 年間延長して実施する取組です。

⑤ 連携中枢都市圏構想

「人口がかなり急速に減少する社会の中で、人が快適な生活を営む為には各地方が中核的な都市と連携し街づくりをしていかないといけない」との国の考え方に基づき、高砂市の場合は姫路市を軸に周辺市町と連携し今後知恵を絞って街づくりを行う構想のこと。

⑥ 公共施設等総合管理計画

高度成長時代には学校、図書館含むハコモノ、道路、公園等、何でも作ることが行政サービスであったが、日本全国で人口減少社会を迎えその公共財産の全ては維持管理出来ない局面にきている。そこで総務省が全国の自治体に作成を促したのがこの総合管理計画。高砂市は今後 2 年間（H27・28）かけて作成するがその後施設の統廃合等が議論された時に総論賛成各論反対（即ち、自分に都合のよいまた近くの施設は残して遠くの施設は廃止すべきといった論調の意見）になることが予想され廃止の後の「夢ある」明確な将来像を示す必要を感じます。

⑦ 庁舎建設整備計画

平成 27 年 12 月には高砂市役所庁舎建設整備計画について方針が決定されます。

⑧ 治水対策

高砂市では床上浸水ゼロを目指して取り組んでいますが、その実現には国等の補助を合わせると総額 300 億円以上の予算が必要と見込まれています。そこで現時点では他の政策とのバランス、財政事情を考え何段階かに分けて実施する方向で進んでいく可能性があります。

今後の取組	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
① 総合計画後期（5年）基本計画	対象期間						
② 地方創生総合戦略	→						
③ 行政経営プラン	→						
④ 第4次行政改革（延長版）	実行中						
⑤ 連携中枢都市圏構想	→						
⑥ 公共施設等総合管理計画	→						
⑦ 庁舎建設整備計画	→						
⑧ 治水対策	中期対策			長期対策			

特に注目

存廃議論の時期

<鷹尾治久後援会役員>

会長：渡邊登 副会長：北野光昭 松谷敏道 荒田修 西本裕行 幹事：吉田淳二 会計：谷村英雄 監査：和住真宏

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所／TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)